



ニュースリリース

BS 4 K デジタルテレビ放送関連特許を一括解決

アルダージと BS4K デジタルテレビ放送局がライセンス契約締結

2022 年 8 月 8 日

アルダージ株式会社

パテントプールライセンス管理会社のアルダージ株式会社は、本日までに、BS 4 K デジタルテレビジョン放送を行う下記の衛星基幹放送事業者（BS 4 K デジタルテレビ放送局）9 社との間で、かねてより交渉中であった BS 4 K デジタルテレビ放送関連必須特許に関しライセンス契約を締結いたしました。

日本放送協会、株式会社 BS 日本、株式会社ビーエス朝日、株式会社 BS-TBS、株式会社 BS テレビ東京、株式会社ビーエスフジ、株式会社 WOWOW、SC サテライト放送株式会社、株式会社 QVC サテライト（チャンネル番号順）

2018 年の 12 月に開始されました日本の BS 4 K デジタルテレビ放送は、一般社団法人電波産業会（ARIB）の参加メンバーによって議論され、策定されたいわゆる ARIB 標準規格に則って行われております。かかる規格は、放送事業者、機器メーカー等多くの関係者の技術、提案、

意見を反映したもので、おのずとその技術に関わる特許権者も多岐にわたり、関係する必須特許の数も多数になります。

このような錯綜した特許問題は何らかの形で対応をしないと規格そのもの、ひいてはBS4Kデジタルテレビ放送自体の普及にも影響してまいります。アルダージは、デジタルテレビ放送に関連する必須特許を一か所に集め、一括してライセンスする、いわゆるパテントプール方式によって特許問題を解決し、デジタルテレビジョン放送システムの普及促進を目的として2006年7月に設立されました。

現在、アルダージではBS4Kデジタルテレビ放送に関し、19社が所有するおよそ570件の特許をプールしております。既に2017年より開始されております受信機を対象としたライセンスプログラムでは88社が契約に基づき製造、販売を行っており、従来の2K放送に加えさらに高精細度の4K放送の受信を可能とする4Kデジタルテレビ普及の為の環境整備に貢献してまいりました。

デジタルテレビジョン放送は、ARIB規格に準拠して信号を放送する放送局とその信号を受信するテレビ放送受信機の双方があって初めて実現されます。このことからアルダージでは放送局を対象としたデジタルテレビ放送に係るライセンスプログラムについてかねてより放送局関係者との交渉を進めてまいりました。このたび成立いたしましたBS4Kデジタルテレビ放送局とのライセンス契約は、2013年3月に締結した129局との地上デジタルテレビ放送関連必須特許に関するライセンス契約、2015年9月に締結した19局とのBSデジタルテレビ放送関連必須特許に関するライセンス契約および2018年4月に締結した21局とのCSデジタルテレビ放送関連必須特許に関するライセンス契約に続き、放送局が技術の使用に対し直接に応分の負担をして開発者である特許権者に報いるという点では極めて画期的なことであり、その結果、

放送局はアルダージにプールされたB S 4K デジタルテレビ放送関連の必須特許を気にすることなく使用し安定した放送事業が展開できることとなります。B S 4 K デジタルテレビ放送につきましては放送開始からまだ日も浅く、今後新たな放送事業者の参入も期待されます。これら新規の放送事業者につきましても同様のライセンス契約を締結いただくこととなります。アルダージは今後もこのように特許料の公平な分担について貢献していく所存であります。

以上

アルダージ株式会社の概要

アルダージ株式会社は、デジタル時代の錯綜した特許問題を協調して解決し各社の競争をクリエイティブビジネスを活性化させるツールを提供するために、2006年7月に設立されました。

複数の当事者が所有する必須特許を一括して許諾し（パテントプール）、特許権者と事業者双方の利便性を追求する事業を展開しております。

所在地 東京都千代田区丸の内 2-3-2 郵船ビルディング 7階

電話 03-6256-0150 FAX 03-6256-0151

ウェブサイト <http://www.uldage.com>

代表取締役社長 遠藤 秀一

資本金 6,000万円

株主	株式会社 JVC ケンウッド	14.29%
	シャープ株式会社	14.29%
	ソニーグループ株式会社	14.29%
	株式会社東芝	14.29%
	パナソニックホールディングス株式会社	14.29%
	マクセル株式会社	14.29%
	三菱電機株式会社	14.29%